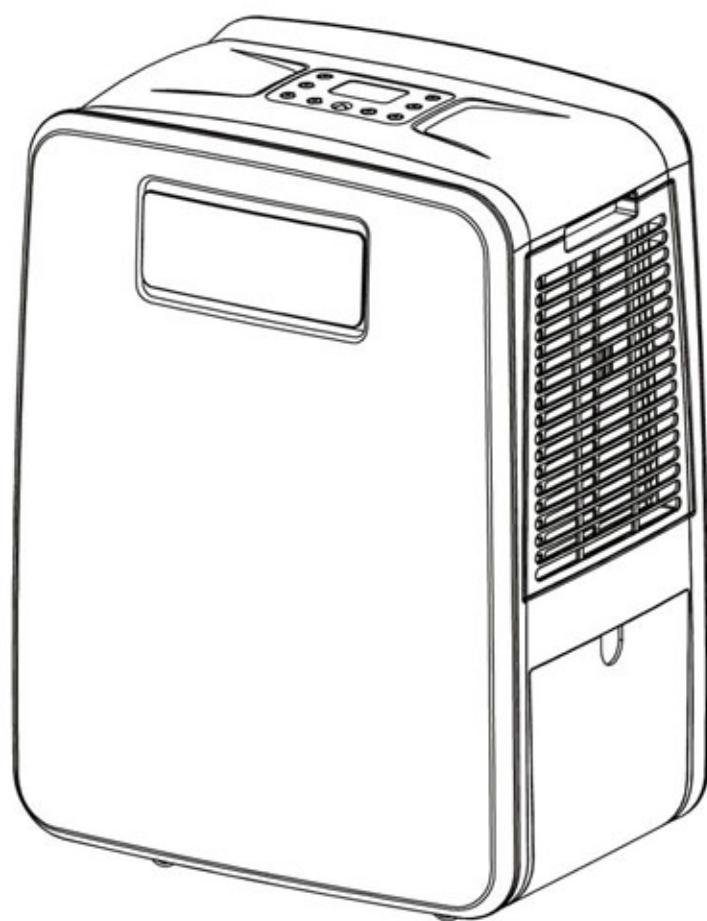


楽座クーラー 取扱説明書

CLECOOL III



この度は本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後はいつでもご覧になれるようお手元に保管してください。



●保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめ、大切に保管してください。


目 次

安全上のご注意	2
各部の名前と働き	6
運転前の準備	9
運転モード設定のしかた	10
冷房運転	10
除湿運転	10
加湿運転	11
送風運転	11
空気清浄運転	11
リモコン	12
リモコンの使い方	12
リモコンの電池交換のしかた	12
排水のしかた	13
連続排水のしかた	14
お手入れのしかた	15
日常のお手入れ	15
長期間使わないとき	15
ご理解していただきたいこと	16
エラー表示	18
仕様	18
保証書	18



安全上のご注意










- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告 (WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意 (CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 注意 (CAUTION)	本機の標準使用期間はお買い求めの日から1年間です。 標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	---


- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。
--	-----------------------	--	--------------------------

 警告 (WARNING)	
<p>●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造を行わない。</p> <p>火災や感電やけがの原因になりますので、お買い求めの販売店にご相談ください。お客様自身で改造・分解は絶対にしないでください。</p>  	<p>●電源コードや電源プラグを破損することはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重いものを載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。</p> <p>傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。</p> 
<p>●使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電の原因になります。</p> 	<p>●日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。</p> <p>100V以外の電源を使うと、電気部品が加熱したり、火災や感電の原因になります。</p> 
<p>●電源プラグやスイッチを濡れた手で抜き差ししたり触れない。</p> <p>感電の原因になります</p> 	<p>●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。</p> <p>ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったホコリなどは定期的(1ヶ月に1~2回)に掃除をしてください。</p> 
<p>●電源コードや電源プラグを傷んだりコンセントの差込みがゆるいときは使用しない。</p> <p>電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差込みがゆるいと感じた時は工業者に依頼してコンセントを取り替えてください。</p> 	

安全上のご注意

⚠ 注意 (CAUTION)

<p>● 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する。交流100V 15A以上のコンセントが確認する。他の電気機器の電源プラグは同じコンセントに差込しない。また延長コードの使用や他の電気機器とのタコ足配線をしない。</p> <p>屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。</p>	<p>● 障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所で使用しない。</p> <p>事故や転倒や故障や水漏れの原因になります。</p> 
<p>● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。</p> <p>電源コードを引っ張って抜くと、コードが断線して発熱 発火の原因になります。</p>	<p>● 可燃性のものや火の付いたたばこ・線香などを吸込口に近付けない。</p> <p>発火の原因になります。</p>
<p>● 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹き付けない。また可燃性ガスが発生する場所やたまる場所では使用しない。</p> <p>万が一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、火災や故障や変色の原因になります。</p>	<p>● ガスレンジや石油ストーブの近くで使用しない。</p> <p>ひび割れ、火災の原因になります。</p>
<p>● 長期間使わない時、必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>	<p>● 水のかかりやすい場所や、風呂場などで使わない。</p> <p>火災や感電・漏電の原因になります。</p>
<p>● 電源プラグやコードは途中で接触したり、延長コードの使用し他の電気器具とのタコ足配線をしない。</p> <p>感電や発熱・火災の原因になります。</p>	<p>● 破損した電源プラグやコードを使用しない。</p> <p>火災やショート・感電の原因になります。</p>
<p>● 濡れた手で抜き差ししない。</p> <p>感電の原因になります。</p>	<p>● 電源コードを製品の下に踏んで使用しない。</p> <p>電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。</p>

安全上のご注意

注意 (CAUTION)

- 水平で丈夫な場所で使う。
事故や転倒、故障、漏水の原因になります。



- 押入れや家具のすき間など、狭い場所では使用しない。
発熱、発火、故障の原因になります。



- 直射日光、雨風の当たる場所で使わない。
加熱などにより、感電や火災の原因になります。



- 油、可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない。
感電や過熱・漏電・火災の原因になります。



- 連続排水する場合はホースの折れ曲がり落差などに注意し、確実に排水するよう配管する。



- 美術品や学術資料などの保存・特殊用途に使わない。
本製品の品質低下の原因になります。



- 燃焼器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない。
故障や変形のおそれがあります。



- 排水ホースを使う場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする。
内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らしたり、感電・漏電・火災の原因になります。



- 吹出口や排気口にピンや針などの金属物等、また指を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。



- お子様の手の届かない所に保管し、お子様は、ご使用にならないください。



- お手入れのときは必ず、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しているので、けがをしたり、内部に触れて感電・故障の原因になります。



安全上のご注意

注意 (CAUTION)

- 長期使用の場合、定期的にエアフィルター掃除する。
過熱・漏水の原因になります。



- 熱気が直接当たる場所には燃焼器具を置かない。
樹脂部分が溶けて引火の原因になります。



- 空気の吹出口や吸込口を布などで塞がない。
風通しが悪くなり発熱・発火の原因になります。



- 本機の上に乗らない。またものを載せない。
転倒や落下によりけがの原因になります。



- 本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、引きずって移動しない。
畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。けがをしたり、床を傷つけたり、汚す原因になります。



- 改造は絶対にしない。また分解したり、部品を取替えない。
火災や感電やショートの原因になります。



- 電源プラグを抜いて本機の運転を停止しない。
火災や感電の原因になります。



- 本体を水洗いしない。
感電・火災の原因になります。



警告 (WARNING)

- 柔らかい布で乾拭きする。
絶縁不良により感電・火災の原因になります。



- 水漏れするときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
絶縁不良により感電・火災の原因になります。



- 本機を移動するとき、必ず電源プラグやコネクタを抜く。
感電や漏電の原因になります。



- 修理はお買い求めの販売店にご相談ください。
ご自分で修理をされたときに不備があると、火災や感電の原因になります。



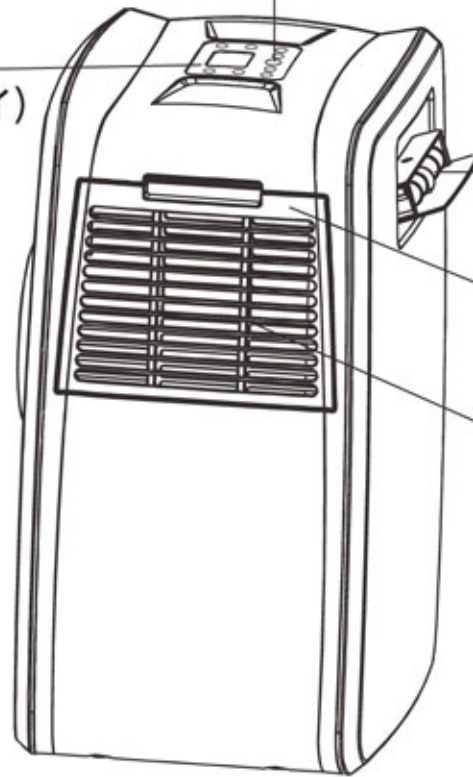
- 異常時(焦げください等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、火災や感電や故障の原因になります。



各部の名前と働き

リモコン受信部

操作パネル(液晶ディスプレイ)



冷風吹出口

フィルター

冷風吸込口

エアフィルター
カバー

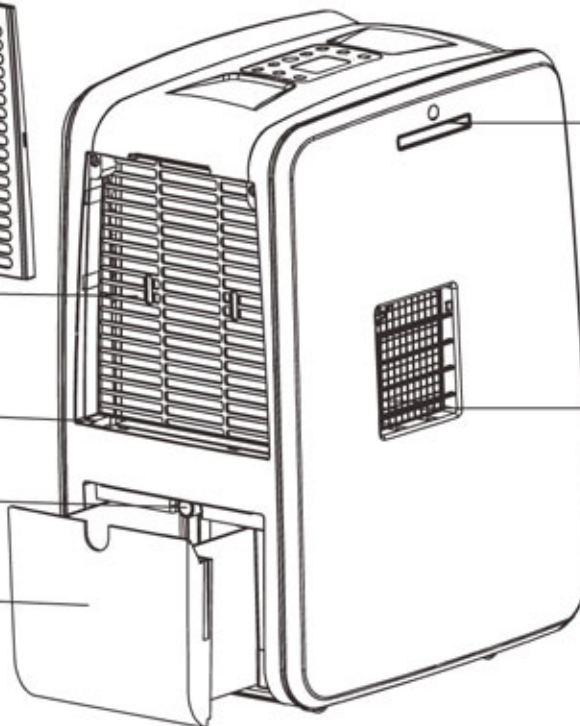


熱風吸込口

注水口

排水口

排水タンク



リモコン
収納部

熱風吹出口

ダクトホース



太口ダクトエンド

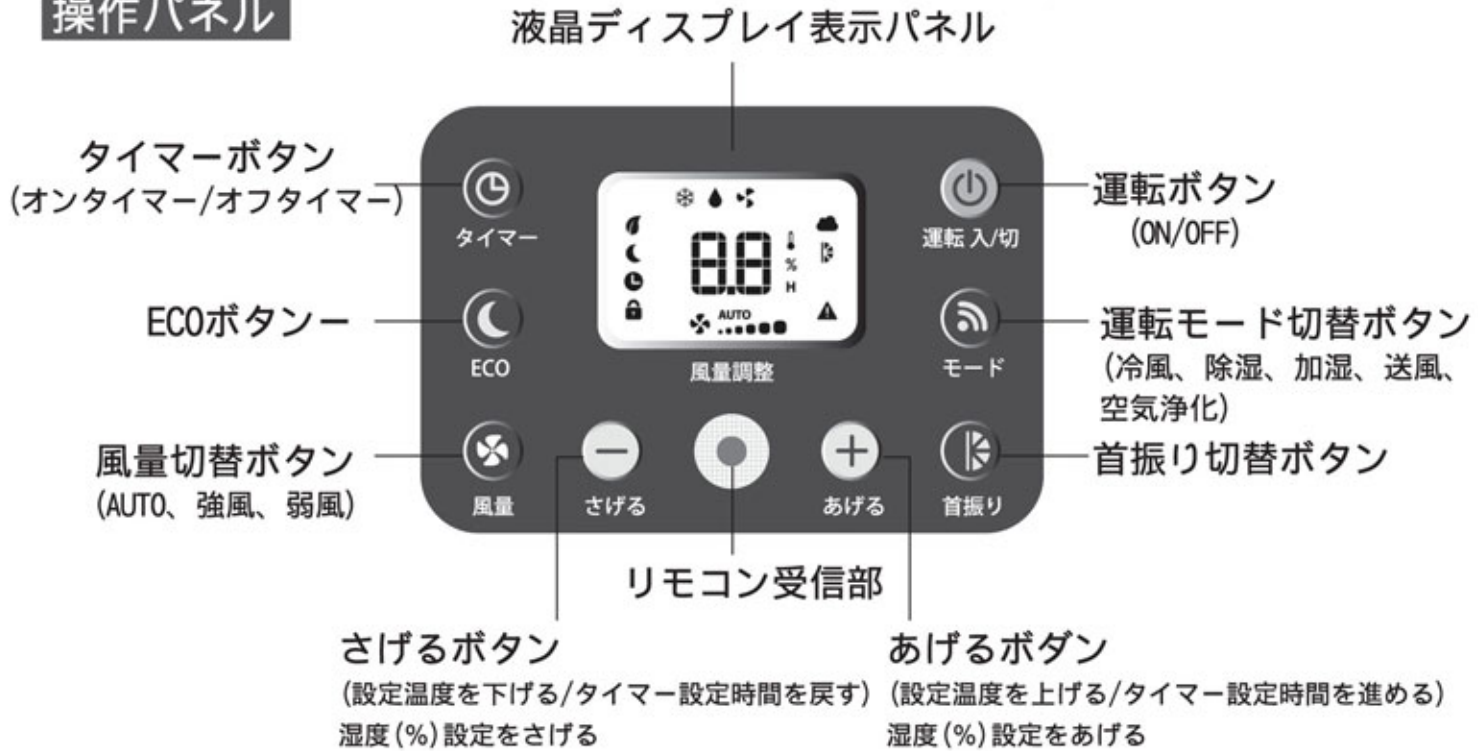


ダクト接続金具



各部の名前と働き

操作パネル










液晶ディスプレイの表示説明一覧

	空気清浄運転		湿度/温度/タイマー/エラー表示
	ECOモード運転中		温度℃
	タイマー設定中		湿度%
	チャイルドロック中		時間
	加湿運転中		風量
	首振り		自動風
	警告(タンク満水)		強風表示
	冷房運転中		弱風表示
	除湿運転中		
	送風運転中		

各部の名前と働き

風量

設定(本体操作パネル  風量切替ボタン、リモコン  自動風  強風  弱風で設定)

	自動風	現在の室温と設定温度の温度差により「強」・「弱」風から自動的に設定されます。※AUTO(自動風)は、冷房とECOモードしか使用できません。室温が設定温度より2℃高くなった場合、自動的に「強風」で運転します。室温が設定温度と同じの場合、自動的に「弱風」で運転します。
	強風	強風量で運転します。
	弱風	静かな運転をします。

タイマー を使う

オフタイマー

- 運転中にタイマーボタンを押し、オフタイマーの時間を設定します。
- 設定時間後に運転が停止します。
- 運転中にのみ設定できます。(停止中は設定できません。)
- 1回押すたびに1時間変化します。(最小タイマー1時間、最大タイマー24時間までです。)
- 時間の経過とともにランプが切り換わり、残り時間の目安を表示します。
- 取り消す場合はタイマーボタンを押しタイマー設定を「00」にしてください。


オンタイマー

- 製品の運転が停止中にタイマーボタンを押し、オンタイマーの時間を設定します。
- 運転が停止し、設定時間後に運転を再開します。
- 運転中では設定できません。
- 1回押すたびに1時間変化します。(最小タイマー1時間、最大タイマー24時間までです。)
- 時間の経過とともにランプが切り換わり、残り時間の目安を表示します。
- 取り消す場合はタイマーボタンを押し、タイマー設定を「00」にしてください。
- 停止中に運転モード、風量、設定温度を設定します。

ECO

- 冷風運転中、リモコンまたは本体操作部の「ECO」ボタンを押します。
- 時間毎に設定温度より温度が1℃上がります。最高温度は設定温度より2℃(2時間)まで上がります。その際にAUTO(自動風)を設定して室温に合わせ風量を調整するので節電になります。
- ECOモードを解除するときは、再度ECOボタンを押してください。
- お好みの風量を選びます。

チャイルドロック

- 本体操作部の「あげる」と「さげる」ボタンを同時に約3秒押しして設定します。
( 点灯)
- 再度「あげる」と「さげる」ボタンを約3秒押すと解除します。
- チャイルドロックによりお子様のイタズラ操作防止、商品の故障防止へとつながります。

首振り

- 運転中、首振りボタンを押すと、風向きが上下くり返して動きます。
- お好みの位置で風向きを止めたい場合、止めたい角度で首振りボタンを押してください。
- 左右の風向きは手で左右にお好みの角度に動かしてください。

運転前の準備

1 製品を取り出します。

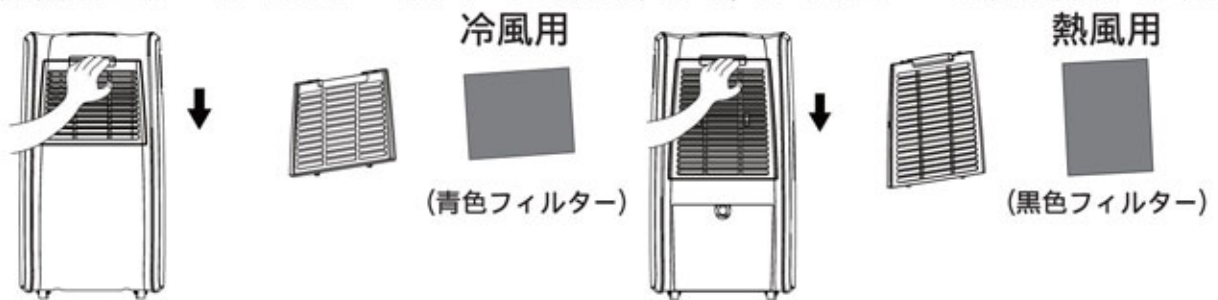
- 包装箱からすべての包装材を取除き、製品を傷をつけないように取り出してください。同時に付属品や取扱説明書も取り出してください。
- 包装箱や包装材は保管するときにご利用ください。

2 水平の確認をします。

- 製品は振動のない、水平で丈夫な床面に設置してください。
- 製品が傾いていないか、不安定な状態になっていないか、必ず確かめてください。
- 製品を傾いた状態で使用しますと、水が溢れ出たり、振動音が出たり、転倒しやすくなります。

3 フィルターを取付けます。

- 本体両側のエアフィルターカバーを取り外して、フィルターを取り付けてください。



4 排気ダクトを取り付けてください。

- 排気ダクト(最長1.8M)は排気口に取り付けてご使用ください。取り付けずにご使用されますと、冷風効果が低下することがあります。

- ① 排気ダクトの両端を50mm程度伸ばしてください。
- ② ダクトエンドを排気ダクトに挿入し、止まるところまで反時計回りに回して固定してください。取り外す際は時計回りに回して外してください。
- ③ 製品の排気口のツメに、組み合わせた排気ダクトを挿入し固定してください。
- ④ 排気ダクトを適当な長さに伸ばします。排気ダクトを調整するときは、排気ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

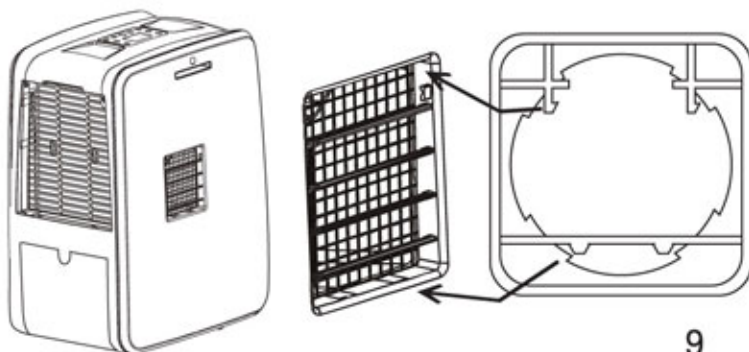
② 取付参考例



5 リモコンの準備をします。

- ① 本機背面のリモコン収納部からリモコンを取り出します。
- ② リモコンの裏ぶたのツメを引いて取り外し、⊕⊖を間違えないように、乾電池を入れてください。12ページ→リモコンの使い方

6 電源プラグを家庭用交流100V15A以上のコンセントに確実に差し込んでください。



ダクト接続器具を熱風吹出口の上部にあて、本体と平行に下して凹凸部分をはめ込んで下さい。外す際は、本体と平行にダクト接続器具を真上にスライドさせて、取り外してください。




運転モードの設定のしかた その1

冷風運転 ❄️

- リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押します。
- 「モード」ボタンを押して ❄️ (冷房運転) に合わせます。
- 温度設定の「あげる」または「さげる」ボタンを押して、お好みの温度に設定します。(最高設定温度30℃、最低設定温度17℃までです。)
- 1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- 部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合、送風運転になります。
- 運転停止後、再度冷風運転を再開した場合、設定温度は初期値温度の25℃になりますので、適切な温度に設定し直して下さい。
- 冷風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON-OFFします。コンプレッサーが停止している時は ❄️ マークが点滅します。

お好みの風量を選びます。

- リモコンまたは本体操作部の「風量」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに    と表示が変わります。
自動風 → 強風 → 弱風


除湿運転 💧

- リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押します。
- 「モード」ボタンを押して 💧 (除湿運転) に合わせます。
- 温度設定の「あげる」または「さげる」ボタンを押して、お好みの湿度に設定します。1回押すごとに5%変化します。(最高設定湿度90%、最低設定湿度30%までです。)
- 切替順番：
“CO” (連続運転) → 30% → 35% → 40% → 45% → 50% → 55% → 60% → 65% → 70% → 75% → 80% → 85% → 90%

- 室内の湿度は設定湿度より2%低くなった場合、コンプレッサーの保護機能がはたらき、除湿も送風も運転しません。30分後、送風運転を再開し、室内の湿度を探测します。室内の湿度は設定湿度より3%高くなった場合、コンプレッサーを起動し、除湿します。
- 運転停止後、再度除湿運転を再開した場合、設定湿度は「連続」になっていますので、適切な湿度に設定し直して下さい。
- 除湿運転中は設定湿度を維持するためにコンプレッサー及び機内ファンがON-OFFします。


お好みの風量を選びます。

- リモコンまたは本体操作部の「風量」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに   と表示が変わります。
強風 → 弱風

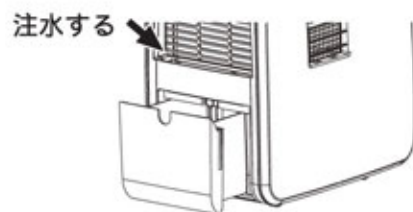
運転モードの設定のしかた その2

加湿運転

- リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押します。
- 「モード」ボタンを押して  (加湿運転) に合わせます。
- 温度設定の「あげる」または「さげる」ボタンを押して、好みの湿度に設定します。1回押すごとに5%変化します。(最高設定湿度90%、最低設定湿度30%までです。)
- 切替順番： “CO” (連続運転) → 30% → 35% → 40% → 45% → 50% → 55% → 60% → 65% → 70% → 75% → 80% → 85% → 90%
- 運転開始から4時間経過すると自動的に運転を停止します。
- 再度運転したい場合、注水口に水を入れて再度運転させます。
- 室内の湿度が設定湿度に達した場合、自動的に運転を停止します。

加湿の注水方法：

- 注水口に約0.8Lの水を入れます。(余った水は自動的に排水タンクに流し込みます。)
- 排水タンクが満水になりましたら、タンクを取出して、水を捨ててから、またタンクを戻します。




好みの風量を選びます。

- リモコンまたは本体操作部の「風量」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに   と表示が変わります。

強風 → 弱風

送風運転

- リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押します。
- 「モード」ボタンを押して  (送風運転) に合わせます。



好みの風量を選びます。

- リモコンまたは本体操作部の「風量」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに   と表示が変わります。

強風 → 弱風

空気浄化運転

- 除湿せずにお部屋の空気をきれいにします。
- リモコンまたは本体操作部の「運転」ボタンを押します。
- 「モード」ボタンを押して  (空気浄化) に合わせます。
- フィルター交換の目安2000時間になりますと、 が点滅し、E8のエラー信号を表示します。
- フィルターを取外して、表面に付いたホコリを取除きまたは、フィルターを交換してください。
- 風量のボタンを約3秒押して、エラー信号を解除します。

好みの風量を選びます。

- リモコンまたは本体操作部の「風量」ボタンを押して風量を選びます。

- ボタンを押すたびに   と表示が変わります。

強風 → 弱風

取り換え用フィルターは別売りとなります。(取り換え用フィルター CLDI1(黒) ¥2,000(税抜))
(取り換え用フィルター CLDI2(青) ¥2,000(税抜))

9ページの3フィルターを取り付けますを参考に交換してください。

リモコンの使い方



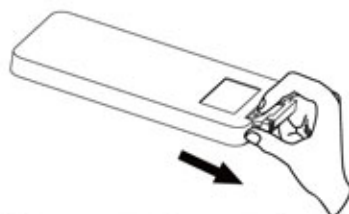
	ボタン	機能
	⏻	運転ボタン
	🌀	運転モード切替
	🕒	タイマー
	AUTO	自動風
	☀️	強風
	🌬️	弱風
	🌙	ECO
	+ -	あげる/さげる
	🌀	首振り
		運転 ON/OFF
		運転の種類を選ぶ
		オンタイマー/オフタイマーの設定
		自動的に風量を調整する。
		強風で運転する。
		弱風で運転する。
		ECOモードで運転する。
		温度/時間/温度を設定する。
		首振り風向きを選ぶ。

リモコン送信部を受信部に向けて操作します。
操作可能距離は約 2.5m、左右に約 45°。

リモコンの電池交換のしかた

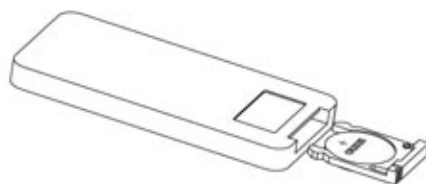
1. リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出す。

- ① つめを内側におしながら、
- ② 手前に引き出す。



2. 使い終わった電池を取り出し、新しい電池を電池ホルダーに入れる。
⊕を上側にする。


3. 電池ホルダーを元に戻す。



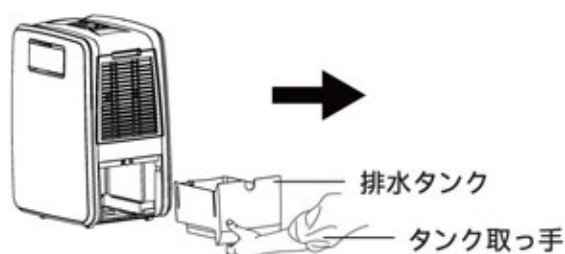
お願い

- 交換用リチウム電池は、CR2025をお買い求めください。
- 電池の⊕⊖を間違えないように正しく入れてください。
- 電池ホルダーに無理な力を加えないでください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って、捨ててください。(捨てる際にはセロハンテープなどを巻き付けて絶縁してください)

排水のしかた

- 排水タンクが満水になると、自動的に運転を停止し、 が点滅し、液晶パネルにE4 (エラー信号)を表示します。
- タンクの水を捨ててください。
- 運転中に排水タンクを引き出すと「E4」が表示され自動的に運転を停止します。
- 排水後、排水タンクを本体に戻すと、エラー信号「E4」が消灯し、運転を再開します。
- 加湿、空気清浄運転時は、排水タンクの水が満水でも運転できます。
この時、エラー信号「E4」は点灯しません。

1. 排水タンクを取り出す

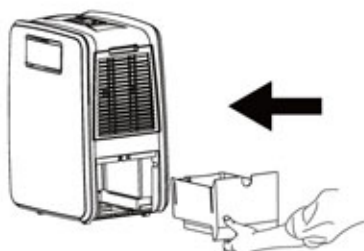


- 本体を押さえながら、まっすぐに引き出してください。
- 水をこぼさないように静かに引き出し、傾けたり落としたりしないよう気を付けて持ち運び、排水してください。

2. 水を捨てる。



3. 排水タンクを本体にセットする



ご注意

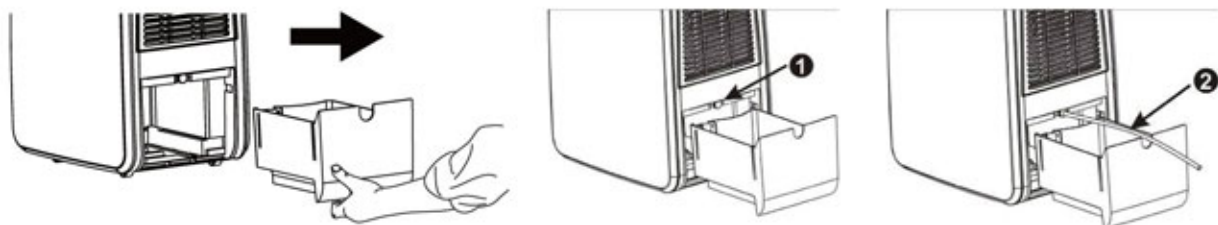
- 本体を移動するときは、必ず運転を停止して、水を捨ててください。
(排水タンク内の水が振動で床などにこぼれ、家財などを濡らす原因)
- 排水タンクの内側を定期的(約1週間に1回程度)に掃除してください。
(長く清掃しないとカビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因)

連続排水のしかた

- 近くに排水できる場所があれば、標準のホースを使って、連続排水ができます。
- 満水で停止することがないので排水の手間がなく、また、長時間運転できます。

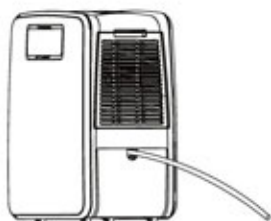
1. 差込プラグを抜く

2. 排水タンクを取り出し、排水口の奥までホースを差し込む

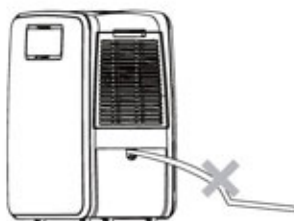


3. ホースの引きかた

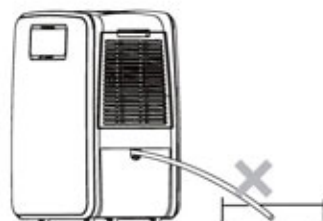
必ず先下りの勾配をつける



途中を折り曲げない



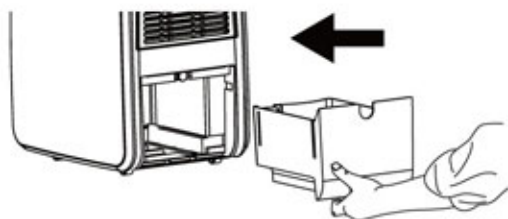
ホースの先を水につけない



- ・確実に差し込む
- ・乱暴に差し込まない(故障の原因)
- ・先の広がったホースは、使わない(水漏れの原因)
- ・排水ホース内径：12mm，長さ：2M

4. 排水タンクを本体にセットする

排水タンクがセットされていないと除湿運転できません。



ご注意

- 連続排水運転のときは、定期的に(2週間に1回)フィルターの汚れ、排水ホースの詰まりなどを点検し異常のないことを確認してください。
- 排水ホースは、ホースの周囲が氷点下にならない場所に設置してください。(ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水が室内にこぼれ、家財などを濡らす原因)
- ホースの先から虫が入るような場合は、ネット(網)を取付けるようおすすめします。

お手入れのしかた

日常のお手入れ



注意

●手入れ・掃除をするときは、必ず「運転」ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。

内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。感電のおそれがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。



●お手入れは、手袋をはめておこなう。けがの原因になります。



エアフィルターカバーの掃除



注意

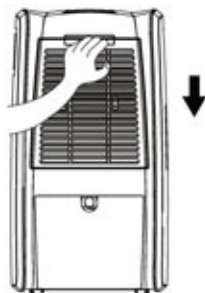
●エアフィルターカバーを外した状態で使用しない。本機内にほこりを吸込み、故障の原因になります。



●本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててからおこなう。また、引きずって移動しない。畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。けがや床を傷つける原因になります。



●エアフィルターカバーにほこりが溜まりますと、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。次の要領で掃除してください。



掃除機で吸い取ります。
※活性炭フィルター、光触媒フィルターの交換の目安は2000時間です。

本体のお手入れ

お願い

●40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うとプラスチックが変形することがあります。

●プラスチックをいためますので、ベンジン、シンナー、アルコール、みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●やわらかい布で乾拭きしてください。

●特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯で拭き取ってください。

長期間使わないとき

●排水タンクの水は必ず捨ててください。

●容器などで水を受ける準備をしたあと、排水ホース差込口から内部の水を抜いてください。

●晴れた日に半日ほど「送風」運転をして、機器の内部を乾燥させてください。

●電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

●掃除をして汚れを落としてください。

●フィルターカバー類を掃除して、取り付けておいてください。

●排気ダクトを取り外し、本体の排気口をビニールカバーなどでふさぎます。

●リモコンから乾電池を取り出す。

●湿気の少ない、風通しのよい場所に保管します。



ご理解していただきたいこと

使用の時は

- 本機はセパレートエアコン等と構造が異なりますので、簡易的な冷房としてご使用ください。
また、同梱の排気ダクトを使用せず、閉め切った部屋で運転しますと室温が上がります。
- 再運転は3分以上待ってください。
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一旦運転を停止して電源プラグを抜き、3分以上過ぎてからコンセントに差し込み、再運転してください。

「冷房」「除湿」運転中

- 室温5℃～35℃の範囲でご使用ください。
CLECOOLIIIには適用温度(5-35℃)があります。温度が高すぎる場合、コンプレッサーが待機(過載保護)モードに入り、送風モードとなります。その場合、3分後に自動的にコンプレッサーが動作します。
使用上に関しましては、例えば真夏の室外駐車場に止まっていた車の車内温度は50℃になる可能性もあります。その際は、窓を開けて、車内温度をクールダウンしてから本機を使う事をお勧めします。

経済的で快適にお使いいただくために

- 排気処理を適正にする為に、排気ダクトを使用していただくと、効果的にお使いいただけます。
- エアフィルターカバーの掃除はこまめにしてください。
エアフィルターカバーが目詰まりすると、風量が減り、効果を弱めます。
2週間を目安に掃除しましょう。
- 直射日光を入れない・当てない(冷風・除湿運転時)。
直射日光をカーテンやブラインドで遮りましょう。
- 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。

クーラーと消費電力との関係

- クーラーは、圧縮機(コンプレッサー)を動作させることと、ファンを回転駆動させることに電力が使用されています。ファンはクーラーが運転している以上、常に回転駆動し続けるため、これを停止させることはできません。
よって、クーラーの省エネを図る場合、コンプレッサーを停止させる時間を長くすることが基本となります。
例えば、クーラーを自動運転モードとすれば、室内の温度や湿度などによって、コンプレッサーの運転時間が自動的に調整されるため、省エネ運転となります。
クーラーは周囲の空気環境によって消費電力が変動するため、月間・日間の消費電力を推測することが困難です。
天気が悪かったり、気温の高低が激しい場合、消費電力も大きく変化します。

これは故障ではありません

症状	理由
停止直後に再運転できない。	運転を停止後3分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。 (マイコンに組み込んである3分間保護回路が自動的に働きます)
音がする。	運転開始時・運転中・停止時に音がする
	「ジー」→ 圧縮器(コンプレッサー)の運転音です。
	「シュルシュル」「ゴーゴー」→ 冷媒の循環する音です。
運転音が大きい。	製品を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。 → 振動のない、安定した水平な場所で使用してください。
	エアーフィルターカバーが正しく取り付けられていますか。 → 正しく取付けてください。
においがする。	定期的にお手入れと内部乾燥をおこなってください。
	フィルターを交換してください。
操作ボタンを受け付けない。	チャイルドロックを設定していませんか。 → チャイルドロックを解除してください。
「E4」エラーが表示したとき	排水タンクが正しく入っていますか。 → 正しく入れてください。
	排水タンクが満水になっていませんか。 → 排水してください。
	水位計測用フロート(排水タンク内の白い可動部品)が正しくはまっていますか。 → 正しく取り付けてください。

お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡の上、修理をお申し付けください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・発熱・火災の原因になります。

エラー表示及び仕様スペック、保証書

エラー表示

エラー	エラー原因	解決方法
E1	温度センサー、基板ショート	販売店に修理を依頼してください。
E2	温度センサー、基板ショート	販売店に修理を依頼してください。
E4	満水または電源プラグが接触不良	タンクの水を捨ててください。 電源プラグの差込みを確認してください。
E8	フィルター汚れ	フィルターを交換してください。

仕様

型式	CLECOOL III
定格電圧、定格周波数	100V, 50/60Hz
定格消費電力	350W
冷房能力	800W
除湿能力(30°C RH80%)	19L/日
冷媒	R134a
排水タンク容量	2.6L
本体寸法	375(W) x 285(D) x 500(H)
製造国	台湾
本体重量	13.2kg
排気ダクトホース	1.8m
排水ホース	2m

保証規定

- 取扱説明書、本体ラベル等の注意に従った使用状態で故障した場合のみ無料修理対象となります。
 - 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
 - 本書の提示がない場合、あるいはお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入が無い場合。
 - 本商品を本来の用途以外に使用された場合の故障や損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
- この説明書に明記された内容を守らなかった場合に起きた事故、製品の破損、接続機器の破損の責任は一切応じられません。